

新井雅博 市長が就任



任期満了に伴う藤岡市長選挙が4月22日に行われ、新井雅博氏(57)が初当選を果たしました。5月10日に初登庁した新井雅博市長は、第7代藤岡市長に就任。市民の大きな期待を背負い、新市政がスタートしました。

心と心が通い合う「心豊かなまちづくり」を進めます

就任のあいさつ

このたび、藤岡市長に就任しました新井雅博です。謹んでごあいさつ申し上げます。今後4年間の藤岡市のかじ取りを担うことになり、改めてその責任の重大さを痛感しております。これまでの市議会議員、県議会議員合わせて21年間にわたる政治経験、培った人脈を生かし、ふるさと藤岡の発展のために情熱を持って取り組んでまいります。

私は「自分の足で聞き、自分の汗で書きとめ、市民の言葉で語る」このことを基本姿勢としております。市民の皆さんの声をしっかりと聞き、市民目線で考え、皆さんと正直に対話し一緒に考えて、透明で分かりやすい市政運営をス

ピード感を持って推進してまいります。

人口減少、少子高齢化など社会情勢は大きく変化している中、地方公共団体には地域の特性を生かした自立的で持続的な社会を創生するための取り組みが求められております。本市においても厳しい財政状況など課題は山積しておりますが、経費の削減、効率的な行政運営に努め、将来を見据えた施策を確実に実行してまいります。

市民の皆さんと共に歩みながら、人と人、心と心を通い合い、市民の誰もが生活や将来に希望を持って暮らすことができる街づくりに積極的に取り組んでまいります。皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

5月9日、任期満了に伴い、新井利明市長が退任されました。

退任式で市職員へ最後のあいさつを行った後、正面玄関に集まった大勢の市民から、大きな拍手で見送られました。

新井利明市長は平成14年5月から4期16年にわたり市政発展のために尽くされました。

この間、健全な財政運営と効率的な行政運営に努めつつ、子どもの医療費の無料化をはじめとする子育て施策の推進や北部工業団地、三本木工業団地を整備し、企業の誘致と雇用の創出、税収確保を図られました。また、高山社跡の世界文化遺産登録を実現し、藤岡市の魅力を世界に発信されました。

市内全小中学校の耐震補強・大規模改修や学校給食センター



の新築。県立藤岡高等学校と県立藤岡女子高等学校の統合では、県立藤岡中央高等学校の開校に尽力され、また市総合学習センターを開設されました。県立藤岡特別支援学校の誘致。さらに群馬医療福祉大学の誘致は、高等教育機関の誘致という本市の念願を達成されました。このように教育環境の整備に情熱を持って取り組まれました。

平成18年の鬼石町との合併では、調整に時間を要した事業もありましたが、その後の新市の建設にも力を注がれ、現在の一体感ある藤岡市の建設を実現されました。

また、広域行政においては、公立藤岡総合病院の入院棟を移転し、外来センターと一体となった病院建設を行い、市民の利便性の向上と、地域医療の充実を実現されました。

新井利明 市長が退任

